

**製品名: ラミニンガンマ2 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab00494**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 131 kDa; Observed MW: 135 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	LAMC2
別名	LAMC2; LAMB2T; LAMNB2; Laminin subunit gamma-2; Cell-scattering factor 140 kDa subunit; CSF 140 kDa subunit; Epiligrin subunit gamma; Kalinin subunit gamma; Kalinin/nicein/epiligrin 100 kDa subunit; Ladsin 140 kDa subunit; Laminin B2t chain; Laminin-5 subunit gamma; Large adhesive scatter factor 140 kDa subunit; Nicein subunit gamma
遺伝子 ID	3918
SwissProt ID	Q13753
免疫原	抗血清は、ヒト LAMC2 の C 末端領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1021-1070

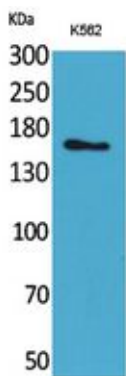
## 背景

ラミニンは高親和性受容体を介して細胞に結合し、他の細胞外マトリックス成分と相互作用することで、胚発生中に細胞の組織への付着、移動、組織化を仲介すると考えられています。

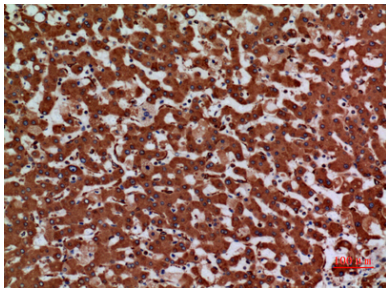
## 研究分野

心血管系

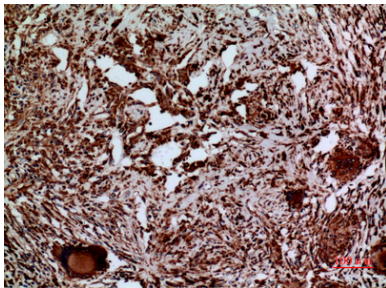
## 画像データ



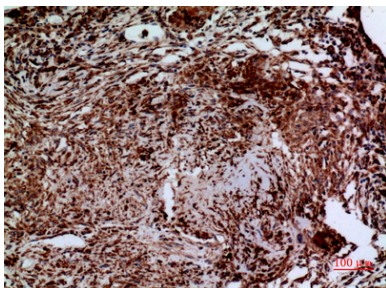
ラミニン ガンマ 2 抗体を使用した K562 溶解物中のラミニン ガンマ 2 のウエスタン ブロット分析。



ラミニン ガンマ 2 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



ラミニンガンマ 2 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。



ラミニン ガンマ 2 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト肺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。

